京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年 紀元二千五百七十一年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓七十錢▲一ヶ年前金三圓二十錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久勝一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

●肺結核の豫防(五)

校化病院 河野作藏

▲肺結核の傳染

其機會とは肺結核患者と接近することで即肺結核患者を訪問するとか又は同棲するとか事務所で椅子を並て終日執務するとか或は工場で勞働を共にするとかである又此傳染機會に影響を及すものは室内に日光の射入することである是れは其機會を少からしめ之に反して室内の掃除後は傳染機會を大ならしむるものである、是れ掃除の爲め室内の細菌は塵埃と共に浮遊し空氣中の細菌數を增加するものなれば肺結核患者を有する家庭には注目すべきことである要するに結核菌は無頓着なる結核患者の周圍に多くあるもので日光の射入を受けざる隅に塵埃多き室内にて其傳染多きものと知らば足るのである、肺結核は遺傳病なる乎及其素因肺結核は遺傳病なりとせしは昔のことで之を全く祖父が肺結核で易簀し父も肺結核で不歸の客となり其子が又肺結核で鬼籍に上ると云ふ樣に世々代々肺結核で斃るゝ人が多くある爲めである、今も向來人に肺結核なることと告ぐると肺結核の血統はないが如何して肺病になつたであろかと首を傾けるものがある之れは大なる間違で肺結核なるものは遺傳病ではない體内にある處の胎兒に母體より結核菌が移り行くとすれば其時已に胎盤に結核的變化を起さねばならぬのである然らば胎兒は充分に發育を遂げて出生し得る者であるか又如斯結核に母體が罹して胎兒を臨月まで胎内に保ち得るか必ず胎兒は流產するのである若し幸に出生することありとするも是とて稀中の稀にして生後二三週間にして死亡するものである、然らば世々代々肺結核の續くは如何と云ふに其子孫は結核菌に對する抵抗力弱き素質即ち胸廓が扁平で頸が長くて皮膚が蒼白で痩せて居る樣な體格だからである併し如斯體格を以て特別の素質とは認むるとは出來ぬのである何となれば善良なる體格でも結核が傳染しないと云ふ樣なことはない薄弱なる體格でも善良なる體格でも結核傳染の機會あれば兩者同じことであるが強壯なる親は強壯なる子孫を造ることは動植物共に有する進化論の原則である。

釜山より

溪村生

◎獨り釜山に限らず各民團の凡てを通じ貸金の擔保の大部分は所謂地價の騰貴を唯一と恃みたる所也故に地價にして或程度を限り向上せず低下せんか經濟界では言ひ知れぬ打擊を蒙むるものと豫期する必要を認め候

◎釜山の經濟界に貢獻するもの〻多大なるは何かと申すに則ち中堅とし稱せらるゝ類母子講是なり一箇月少なくも五六万圓の融通を之にて利するを得且つ之によりて土地の抵當とせらるゝは約九十万圓とす發展の速かなる土地柄だけ交通機關の完備と共に其繁榮を他に移れざる覺悟專一に候

◉されど〳〵釜山は健實に着進し發達しあれば港灣の設備に金三百六十三萬圓を投ぜらるゝに從ひ樂觀は到底去るべくもなく商業的地盤は地形上の關係と相俟つて牢として拔く可からず候

◎四月中の金融は餘り香ばしからず輸入品は向ふ八月迄在荷持越しとなり輸出品も例により手控へなるも鮮人の土地免税は併合後の紀念として彼等に歡迎せられたるは事實にて其後彼等は米價高に驅られ小作人の貯蓄米をすら持つて居れば稍高く賣れると確信せしものが金融を計るなく影響して經濟界閑散の狀態に在りしかし是は例年此月に斯うしたものと極まり居り銀行家も別に怪まず却つて其報況に昨年より數字に於て增加せるやに候

◉釜山へ新設漁港に對する經營は誰の手に落つ可き政府の補助を受けつゝある水產組合か將た私營の水產會社が近く我地有力家出資すべし該工事は六月迄に竣成豫定すれば朝鮮立國の發展上何とか融通を利かせ度候

外事一束

▲兇徒● 墨西哥にてマデロ氏暗殺を企てし者あり陰謀發覺直ちに捕縛さる。

▲犯人● は米國人にして八万弗にてマデロ氏暗殺を受負ひたるものなりき。

▲葛藤● 南米智利國民秘露人に暴行を加へ國族を燒きし爲智秘兩國葛藤惹起。

▲拒絶● 摩洛哥王は自國を佛國の保護國とせん事を申込み佛政府之を拒絶。

▲回答● 獨逸は米國の仲裁條約提議に對し[illegible]の回答をなせり。

▲恐日● 濠洲一新聞日本の海軍々備は太平洋の英國地位を危險にすと論ず。

▲羅馬● 法王は回覽訓令を發し葡國共和政府の非宗教的行動を痛く攻擊す。

▲英國● 上院は採決を用ひずして上院否認權制限法案第二讀會を通過せり。

▲婦人● 參政權法案に關しては次期議會に於て之を討議すと英國首相約言。

▲土國● 政府は露國の覺書に對しモ國に對し何等反抗の意思無しと聲明す。

▲清國● 法部大臣は内閣に司法權獨立問題を提議し本年より實行を期せり。

○新刊紹介

△滿韓之實業(第六十六號) 九貫生の「市場税の撤廢を論ず」を始め經濟的有益の論文多し(一冊二十五錢釜山港琴平町滿鮮實業協會)

△朝鮮農會報(第六卷第五號) 農業者のみならず朝鮮に於ける實業者は讀んで參考となすべし(一冊二十錢京城中部貞善坊大廟洞朝鮮農會)

△釜山方面商工業調査(朝鮮總督府農商工部)

△元山方面商工業調査(同上)

●夜學校めぐり(四)

山村生

第六夜 中東學校

典洞にある、日本人教師は居らぬが、生徒は四十餘もある、以前には二百名も學生の居た時が在つたと、學監代理が話した。

教師が「サスガ」とか「ナガラ」とか「サエ」とか云ふ樣な、事を上手に說き明して居た、此の樣な事を教へるには鮮人教師に限る。

第七夜 聖公開進學校

光化門に近い所にある、本願寺の僧侶が、無月謝で、日本語を教授して居る學校だ、實に其の熱心には、感服した基督教徒には未だ此の擧あるを聞かぬ學生は甚だ少ないけれ共、教師も生徒も實に〱熱心である、此の種の學校の隆盛を望む。

第八夜 長薫學校

笠に周衣、朝鮮服裝で出掛けた、長橋の長薫學校へ行くと、日本婦人が四十名餘の有髯男子を叱り飛して會話を教へて居る、一つ入學して見ようと思つて、事務室へ這入ると、手續を終つて後に、例の女教師が、入學試驗と云ふので、讀本は何を讀みましたかと尋ねる、俄の事で返答に困り、躊躇して居ると、事務員が親切に、朝鮮語に飜譯して呉れた。

第九夜 女の夜學校

北部の桂洞洞に、女の夜學校があると云ふ話を聞いたから、二三夜探したが分らぬ、其後漸く分つたが、三清洞だ之れは日本語を學ぶ目的では無く、刺繡を學ぶのに、日本語を知らねば、不自由と云ふので、十名程の三十女が、好事的から學んで居るのであつた。此の外に女子の夜學校は無い。

召使れ初

黑法師

第六十八回

此時佐十郎は突如として頭を擡げぬ然もの顔の色は平生の如くならざりき

「母上、私折入つてお願ひござります」

「何事か知らぬが、父上歿の外御立腹あらせられるで、什麼とも返事爲し難ねる、然しまづ其の次第聞かうわの」

お力は涙に濕む目を擧げて、怖しき物にても見る如く佐十郎を見返へりき

佐十郎は垂頭き勝なり

「お願ひの儀、餘事ともござりませぬ私お察どのを妻に申し受けたいでござります」

「わ」とお力は我が耳を信ぜぬまでに驚き「突然に什麼をいふぞの」

聞きたるはお力のみならざりき、德兵衛お察又聞くまじきことを聞きたる如く顔の色を變へて、きつと佐十郎を睨み詰めぬ佐十郎は垂頭きたるまゝ

「突然に斯樣な事申し上げ、定めて意外に驚かせられうとは存ずるも、年來の願望、お察どのとは淺からぬ御縁もあるで、私申し入れに故障あらうとは思ひませぬ、一應まづ御本人お心それ聞き下さりませう、その御返答の模樣に由つて、私から改めて申し上げることでもござります」と佐十郎は飽くまでも眞面目なりき

「これ〱」とお力は他の耳をも掩ひたきやうに膝を前めて「そなた什麼を云ふ、そなた眞心でいふてあるか、自分一人の口さへも糊し兼ねて、德兵衛殿厄介にならうといふ身が、妻を迎へて什麼とするぞの、第一浪人の身に什麼樣の見込みあつて、お察どの御縁付きあらうと思ふ、ちと場所柄を嗜なみやいの、場所柄を嗜んで、口上をしやらぬと、親の私まで面目ない思ひするわの」

「此事眞實ござります、私一期の望みござりますに由つて、恥辱外聞をも思はず、口外致したのでござります、只今こそ浪人、今日の生活にも困りあれど、明日にもお召し出し相成れば、百石の知行、槍も突かせる身分でござまするで、家内の一人二人、什麼の還も掛けませぬ、德兵衛殿もこれに任せ、御厄介所に、この媒介お聞き下さらぬか」

德兵衛はあまりの事に呆れ果てゝ、返事もなく目を瞬りぬお察はまち〱と佐十郎を見詰むるのみ、立つにも立たれぬ羞かしさを袖に包みて詞なかりき、

「爲りませぬ、將來立派な身となつて人に後指さゝれぬ時來れば、私からお察どのへお願ひ申して、そなた望みの協ふやう致すまいものでもないが、今は爲らぬ、今は母が不承知ぢやで、德兵衛どの、佐十郎には關ひなく、お察どの上りの御用意、これが要でござらうぞ」

「あゝ母上」と佐十郎は血を絞る聲にて叫び「存外お詞、佐十郎其意を得ませぬ、例へ母上御不承知ござりませうとも、これと思ひ込んだ縁談、此まゝに致しては世間へ面も出されませぬで是非お察どのを迎ゐまする、迎ゐて宿の妻に致しまする、お察どのも先年御世話申したを、お忘れなくば、これに否やはあるまいと推察、德兵衛どの平に御取持ち頼み存ずる」

一座は只沒語け渡る、什麼としても付り難きは佐十郎の口上なり



朝鮮總督專任論

京城新報

頃者、政府の變動を逆睹し、近く內閣の交迭を見る可しと唱ふる者あり、一面には之を否認する者あり、混沌として何れが眞なるかを捕捉し難く、[illegible]

[illegible]兼任に當らんことを望む。

東京電報（三日發）

▲東宮妃御散步　東宮妃殿下は昨今近侍の肩に操り室內御散步あらせらるゝまでに御回復あらせられたり

▲松浦伯に下賜品　皇太子殿下には去る一日行啓あらせられたる舊平戶藩主松浦伯爵家に御紋章付銀製花瓶一對、紅白縮緬二匹を下賜されたり

雜報

▲通商局長後任　外務省通商局長萩原守一氏の後任は坂田倫敦總領事に決定すべし

▲日露犯人引渡條約　日露犯罪人引渡條約は今回露都に於て公式商議するに決し近日本野大使に委任狀發附さるべしと

▲英帝誕辰祝賀　今三日は我同盟國なる英國皇帝陛下の御誕辰に就き賀を織りにては式部官長崎省吾氏を勅使として英國大使館に御差遣あらせられたり

▲宇治艦の行動　清國長江沿岸不穩の狀況あるを以て派遣されたる帝國軍艦宇治は昨二日漢口に到着更に漢陽に向へる旨公電ありたり

▲鳥尾光氏卒去　故鳥尾將軍嗣子正五位鳥尾光氏は關節炎にて遂に卒去したり

▲御誕辰と御祝電　天皇陛下には今三日英國皇帝ジョージ第五世陛下の御誕辰に相當するを以て御懇篤なる御祝電を發せられたり

●新漁業令發布

去る二十五日付を以て御裁可濟となりし漁業令三日制令を以て發布さる其內容を報道すれば從來の漁業法は韓國政府時代に立案制定せし者なれば併合後の今日に於て無論變更の必要あり詳細は發布後ならでは明らかにし難きも舊漁業法になかりし漁業組合規定及從來外國領海水產組合法によりし水產組合を今回新漁業令の水產組合の規定に編入し其他捕鯨に關しては特別法を以て處理し居るも新令に包含し尚施行細則等にも多少變更ありたるものありと云ふ

●漁業令附則發布

新漁業令に附隨して施行さるべき漁業に關する取締其他の諸則は三日總督府令を以て漁業令施行細則及び漁業取締規則として發布されたり

●各道授產計劃（八）

……黃海道……

▲授產費割合　同道各郡を通計せる恩賜金利子は三萬二千八百二十圓なるが本年度は以上の內二萬二千九百圓餘を使用し殘額は基本金に編入す又其事業を共同及郡別とし共同事業費は一萬二千五百三十七圓を計上し各郡に其分擔額を割當てたるが今之を授產費配付額に比例すれば約三割八分二厘に當れり而して地方費事業に對し重複避替の弊なからしむ爲め其撰定に注意し巧みに調和を計れり

▲事業の種別　共同施設事業は技術員の設置、養蠶傳習所の新設、苗圃の開設とし又郡別事業は模範田の設置、農蠶具貸與、蓆織叺製造の傳習、種蠶共同飼育及共同乾繭並に苗圃の設置とす更に蠶糸、作蠶、植林、水產の各業に對し補助金を支給す

▲技術員の設置　同道は米麥大豆及果樹蔬菜何れも適應せざるなし然るに農作法其當を得ざる爲め品質劣惡收穫甚だ寡少なり若夫れ之が改良を行ふ時は一般の收益を增進する事甚大なるべきを以て內地人八名の技術員を置き直接の指導及模範田の監督を爲さしむ

▲養蠶傳習所　を海州邑內種苗場に設置し桑苗の仕立桑樹栽培蠶兒飼育製糸蠶種製造殺蛹蠶具使用法及製作法蠶種檢查族蠶の飼養管理方を傳習す傳習生は毎年三十名とし傳習後は實地就職又は共同飼育所の敎師に任ず

▲苗圃の設置　同道山野は何れも禿峯裸山のみなるを以て之が植林は最も適應の事業たり依て苗圃を海州砂里院松禾の三箇所に設置し各技術員一名を配き林用樹木を養成して之を兩班儒生の希望者に配付し技術員をして實地指導せしむ

▲模範田の設置　箇處は十九郡にして兩班其他自作農業者中熱心誠實なるものを撰拔して之を設定し地方特有の農作物を耕種せしめ且つ改良農具を貸與し技術員監督の下に實績を現示す併せて範を一般農民に示し之が改良指導を爲さしむべし

▲其他の施設　としては稻扱、籾摺器、萬石、唐箕、蓆織器、製繩器、座繰器、揚水器及蠶具等各郡に適應せるものを備へ期間を定めて無資力者に貸與し又技術員をして叺蓆製造の傳習を行はしめ或は稚蠶共同飼育所を二十戶每に設けしめ且つ各郡に苗圃を設置し樹苗の養成配與を爲すと共に道立苗圃其他より配付さ、樹苗の假植を行はしめ向ふ三箇年間年々十万本內外の山行苗を仕立つる方針なり

●總督學校巡視順序

昨紙報道總督の京城各學校を巡視の順序左の如し

△第一日官立各學校△第二日民團立高等女學校△私立善隣商業學校△南大門小學校△第三日公立校洞普通學校官立外國語學校官立高等女學校△第四日官立高等學校成均館、公立於義洞普通學校

●總督英館參賀　今三日は英國皇帝陛下の御誕辰に當るを以て寺內總督は午前十時五十分官邸出門英國領事館に赴き祝辭を述べたり

●地方課長の新任　前山形縣事務官たりし澤田豐丈氏は今回內務部地方課長に新任されたるが同時に課長心得たりし事務官武藤金吾氏は被免されたり

●會議所役員會　日本人商業會議所は三日午後六時より樓上に役員會を開き勤續店員表彰、選擧名簿縱覽に關する件々を協議せりと

●松永師團長消息　北韓守備隊檢閱の途に在る松永第二師團長は目下羅南に於て檢閱中なるが何は是れより會寧方面を檢閱の上來る十六七日頃歸任すべし

●新設皮革會社

……多少の冒險を覺悟……
……年利僅七分の配當……

當會社は昨年來着手せる實地の調査に基き前途有望の成算を得たるを以て茲に其計劃を進捗せり實は始め其組織を合資會社とせん筈なりしも贊成者側の意氣込み甚だ旺盛にして中には其資本額をも寧ろ大に增大して二百萬圓とすべしなど唱ゆるものさへあり斯かる好狀の下に遂に株式會社に改定し且つ公稱資本金を百萬圓に決したり而して名は株式會社と稱するも株式は予等發起人相互の知合を網羅し全部引受を確定せるものなれば極めて少數の集團に過ぎず旁々一般公募等の手數は行はざる筈なり斯くて一切の目論見設計を了へ會社令の手續を踏むで既に總督府の認許を得たれば本年中には工事に着手し來春頃より營業の開始を見るに到るべし工場の地點は當初麻浦に撰定せしも同地は年々漢江の氾濫に犯かさるゝの虞れあるを以て他に適當の個處を發見せんと欲す又製革機械は吾が內地に注文し九月頃には到着すべき都合なるが其數三十六臺あり蓋し相當の規模たるを疑はず原料は勿論朝鮮產を主とす然れども南北滿洲及蒙口地方の供給亦尠からざれば追ては此方面の產品をも需用するに到るべし製產品は陸海軍を始め民間諸工場等に於て使用する一切の皮革を目的とするも會社本來の希望は寧ろ支那及露國に販路を求むるに在り則ち此方面に發展せん爲め進むで加工品をも經營せんと欲す若し夫れ斯業經驗家をして吾が社の設立を評せしむれば如何にも無謀の擧なりと嘲笑せらるゝならん何となれば朝鮮に製革事業を營むに就ては二個の不利益あり則ち朝鮮產の牛皮は世人の知る如く牛車の轅棒に依り若しくは荷鞍の不完全に基く損傷甚だしく或は又剝皮の際に於ける刀傷等の爲め到底良品の製出に適せざる事一なり二は原皮の儘移出すれば無稅なるに是を製品とすれば二割の關稅を享くるの不利益あり然るに其販路の多くは當分內地を目的とせざるべからざるを以て遂に內地製產品との競爭に堪ゆ得ざるべし思ふに此二個の缺點は何人も否む能はざる事實にして予等の最も考慮を費せし處なり然れども之が研究を經たる結果は決して憂ふるに足らざるまでの成算を得たり則ち其販路を內地のみに着眼すれば或は多少の危險あらんも既に吾が日本の一部分に屬する朝鮮に之を計劃し上述の如く大陸的に發展せんと欲するに於ては一時の苦痛は毫も意とすべきに非ず宜しく永遠の謀を策して勇往邁進せんのみ是れ予等同志の固く決意して這回冒險的企業を開始せる所以なり見よ清國に於ける皮革の輸入年額は實に一千萬兩の巨額を算するにあらずや又一方露國に顧みんか西比利亞に小規模の製革工場若干あるのみにして到底全國の需要を充たすに足らざるべし故に此方面の發展を以て打算すれば其將來甚だ多望なりと謂つべし此見地より予等同志は僅々年七分の配當を以て甘むじ最も率實に經營の歩を進めんと欲し居れり云々（佐藤秀光氏談）

イ便

▲……はがきだより……▼

山雲水神生

さして行くへ日群山港。を素通りにして一望千里、全州平野の眞只中で。別に鷄でも飼ふさ云ふのぢゃ無いが。海山館へて遙々出かける程の身に仔細はサテ。何がな先方へ着いたら思出す用事もあらふが、途中は夢中か一層氣樂な一人旅。道連れはいづれ出來合で間に合せるとしてコソ〳〵旅裝を整へ。時計を見れば僅かに數分、乘り遲れんとするは他人にわらず。自分と思へば氣が氣でなく。大急ぎて南大門に驅付くれば時間迄はまだ大分。早やかつたので遲くはない。乘り遲れざりしは當然にして寧ろ誇るに足らずご雖も。本人は頗る安心せり。

やつと車中に腰を下ろして落ち付いて見れば案外待ち長い

立たんとすれば今度鳴り出す發車の拍子に足元を狂はせながら窓から出した首は我輩一人のものにあらず

改めて仕方挨拶の氣が拔けて發車間際にチョイと仕なほす挨拶も變なもの

ユラリ一搖り、動き出した車體の動搖が漸く調和を得たかと思へば早や龍山ぢや。鷺梁津は眞似ばかり。永登浦は泰然たる停車振り。素砂富平はウルサイと云つた風。紐峴から先きは、イヤ〳〵ながら。仁川に着くやガターンと列車は投げやりの体。

山一つヒラリ越したる燕かな

●將校夫人の招待　大久保軍司令官は二日午後二時より龍山官邸に司令部及師團附各將校夫人五十餘名を招待し茶話會を催したり

●秋山參事官歸任　總督府參事官秋山雅之介氏は先般來東京陸軍省內總督府出張所に於て當府關係の諸法規取調に忙殺されつゝありたるが愈々來る五日東京出發歸任の旨通報ありたりと

●臨時派遣隊幹部演習　朝鮮臨時派遣隊幹部將校一千餘名の一行は水原を中心として二日より約十日間の豫定にて野外演習を擧行すべしと

●築港祝賀と水道局　仁川水道局にては局員一同醵金をなし築港祝賀會の式場に一大噴水地を造り式場の一美觀を添ゆる筈なりと云ふ

●花田中佐の衛戍講話　滯京中の花田中佐は今三日午後步兵第六十五聯隊の將校集會所に於て衛戍講話をなすと云ふ

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
六月三日	一七一、三四六、七八〇	四八一

內地巡禮日記（七）

水浪生

五月九日、今日の日程は午前は在宿、約束せる四五の訪問者に會ひ、午後は墓參。○○○報知の佐藤君。先來り其後續いて四五の舊友見ゆ、大國民の今井君亦た相變らず○の元氣にて訪ね來る、語るところは何、談ずるところは何ぞ、茲に多くを叙說するを要せず午後一時佐藤今井の兩君と午餐を共にし、別れて谷中に向ふ。○故恩師田口鼎軒先生の瓊塋谷中に在ればなり、共同墓地の入口に至れば放鳥十數籠、生花造花數十對を並べし葬式行列に會す、傍人曰く之れ洲崎遊廓甲子樓主某の葬儀なりと。曩に吉原燒けて洲崎獨り其繁昌を恣にせんとす、而して思ふに甲子樓主の如きは吉原の災禍を目して自家の福となさんと期したる者、今や無常の風に誘はれて谷中の墓地に到る、嗚呼悲しみ、之に因つて喜ぶ、之に因つて呼禍福は來と人生の幻影、決して茶人の事に非ざるなり。墓地案內所の某に案內を受け歩して鼎軒先生の墓前に到る、余進んで携へ來りし榊を捧げ、淨水を以て墓碑を淨め而して後ち額づきて拜す、嗚呼先生物故して茲に七年、過日舊友門人相集まつて一大追悼會を催す、余遠きに遊ぶの故を以て會に加はることを得ず、今筆禍の爲め小閑を得、幸に來つて墓前に拜を遂ぐることを得たり。墓地を出て上野公園の新綠を賞し、公園下より電車に乘つて高輪に向ふ、高輪よりは京濱電車に移り、青物横丁停留所にて下車し、驛車に轉して谷垂なる故伊藤公の墓所に向ふ。去年三月余が來りし時とは進み、今は墳域は總てに岩壁を以てせらる、通用門より入り、五十步にして外玉垣前に謙れば貝島太助寄進の手水鉢あり、是にて手を淨め、貴族院有志の寄進せる石の鳥居を潜り、立憲政友會寄進の石燈籠を兩側に見つゝ、內玉垣に近づき、茲にて白き土マンヂウに向かひ額づきて拜す。暫らくして墓前を退き、域內を眺むれば紅白の躑躅花は今を盛りと咲揃ひ恰かも故公の樂天觀を說くものゝ如し。歸るに臨み墓地監守杉原氏を訪ふ、杉原氏は故公の知を辱ふせし人、陸軍佐官にして藤田總督府醫院長とよく知れる人なり、余杉原氏に請ひて昨四十三年三月以降に於ける參拜者の氏名記錄を一覽す、左は該記錄中より朝鮮關係者だけを抄寫せしものなり。

福岡梅、新田又兵衞、信夫淳平、市原盛宏、國分象太郎、李恆九、外波武官、李完用代理、兒玉秀雄、木內重四郎、大岡力、長谷川好道、古谷久綱、朴重陽、閔完植、澤田牛麿、韓昌洙、國分哲、若林賚藏、松井茂、目賀田種太郎、李埈鎔、朴齊純、黑崎美智雄、龜田昌平、稻葉觀一、牛丸友佐、蜷川新太郎、黑田太久馬、森山茂、井上雅二、寺田克巳、山遞勇輔、進辰馬、宇部宮髙三郎、宮岡恆二郎、峯岸繁太郎

以上記したる外尙多くの朝鮮關係參拜者ありたらんも幷は記錄に存せざるを以て茲に載するを得ず。杉原氏曰く今や當墓地への參拜人は個人的にあらずして社會的となれりと、宜なり今や世を擧つて公を思ふの情切なるものあるを。

▲茶袋▼

原敬君滿車中で朝鮮議を强ゐられ曰く、寺內が在任內地人を疎外するとの非難があるか無いか、▲禁眼被れすらも分からぬ程の朝鮮、此一通り一片の旅客に分かるものかト▲禁語で能く悉くして居る▲二千餘圓の豫算を以て民間稅制調查委員會を設けてから既に一年に垂むなんとする、然るに委員會主查會を開ける僅に三回▲嵐が何ゝ一つ調査せし事ないのに、モウ惰氣を生じて辭表を提出するもの續々である▲夫れで昨日限りで遂ふ〳〵解散を決するそうだが、是ども呆れずんば何をか呆れさらんやだ▲京城民團に於ける滯納歳分は、愈で進むで愈々甚まじい、此頃は町別軒並に襲擊を運ふして居る▲ソコで本町三丁目に追び、京城唯一の富豪中村再造君の家に差押命令を執行した▲再造君平蜘蛛の如うになつて差押丈けは許して貰いたいと哀願したが、法は苟くも輕ぐべからずと操々として引揚げたのは近來の痛快事だ。

釜山より

釜山汽船會社は資本金六十萬圓其一ヶ年の總督府補助金二萬圓なるを基礎とし海運の完全普及を計る可く同社長大池忠助氏は[illegible]

▲京龍南驛の貨客（三日分）

▲南大門驛乘降客 [illegible]

▲龍山驛乘降客 [illegible]

●大坂期米電報 [illegible]

●仁川米豆取引所 [illegible]

◎沿岸航路を確實に發展せしむべき時機たり……併合後の鮮人統治策は專々陸上の設備に整せり海運上と伴はざる可からずと……年の總督府補助金三萬圓なるを基礎と……々總督府にして該計畫施設を認容さる〜ならんか二百萬圓乃至三百萬圓の資……

京城藝妓の半生（廿六）

井門本店　權助（四）

押し詰つて年の暮の三十日と云ふのに稲葉（上田の實家）の主人は島津さんの親戚の人と伴れ立つて妾の實家へ尋ねて來ました、れ母さんは稲葉の主人は初對面の挨拶が濟むなり斯う云つた相です「れ母さん私や何にもれ母さんに文句を云ひに來たのでもなく又七六箇敷談判なんて事を持出すのでもない、と云ふと飛んだ男振りの好い大黑屋張りだが其所迄養成した次第ぢやあないので實はアノ女の身代の方は此のれ人の（島津の親戚）方から頂戴したつてね始末なんで金杯云ふ者は來なくつても好いからね何うで惚れ合つた二人だ好いなんだと云ふハイ宜しいと承知すまい夫れには左樣云ふ事に經驗のある私に一番折つて呉れと島津さんの大旦那に頼まれて此方樣のれ伴として來ました、其處でど此れが最初の證文島津の大旦那からのお贈物としてね、れ母さんの方へ納めて下さい少々無理かは知らないがれ母さんからヨーク一つしづちやんを說き附けて若旦那がれ歸りに成る樣しづちやんから持ち込む如に！！…其の纒めか所が何うか成るまいかと云ふ其處が纒かしいしづちやんの晚はれ母さんやしづちやんには纒の立つ如にするから」と云ふ下から島津さんの親戚の方も「何分相續人ではあるし…夫れも女房が無いとでも云ふのなら困いもせんが立派に女房があるのだから未の纒を思つて別れて呉れる如に賴む、決して貴女や娘御の顏は潰さぬ」と手を合はさん斗りに母は初めから奥樣が有ると云ふので一旦は不贊成を唱へた位なんで仔細を話した後「腹が減つちや、若旦那も今の所れ前がたから可いが夫れが扱何考へると今此所で別れるのが花だらうと思ふよ」『夫りや妾も最初から承知して居るので又其奥樣にも御損負に與つてるから濟まないとは思つてたんだよ、けれども斯う一時氣がフラ〳〵として斯うなつた丈けなの、元より妾も若旦那を何とか思つて居ないぢやないがさりとて一生連れ添はうとも又一生連れ添はれるとも思つては居ない位だから遲かれ速かれ愁嘆場の出るのは覺悟の前なんだから承知したつて事を知らして安心させて上げて頂戴』と斯ふ云ふ風、何にしろ明ければ四十年の正月元旦と來る日ですから世間は忙がしい頂上です、其の中で色の纒の手切れのと暢氣らしいと思ひなさるか知らないが夫れ相當に忙がしいものでしたよ、委細ことは抜きにして島津さんを說き付けて溢々ながらも承諾さして其晩直ぐに迎ひの者と共に上田へ向けて出發して終つた、其時贈られた七百圓で日本橋檜物町に小松屋巴の御神燈を揭げました、左樣斯してる内に相場師の大北若次郎と云ふ人に贔負にされ其の人の肩入れで抱妓の三四人も置くと云ふ勢は大したものでした、恰度其の時分の事でした現に擲翠に居つてのれ染さん、アノ人を抱へてはとの相談があつたけれど餘り若過ぎたものだから斷つた事がありますよ、四十一年の夏大北さんが大失敗で二進も三進も行かばこそ、茲に於て乎非門から未だかきたりない旅の恥を盛んに引つかいて居るんです、而して此頃は筑前琵琶を稽古して居りますの、エ、當地へ參りましてから〈其〉機氣の利いたのは一人も有りません、全くですよ。次は

開進亭の錦玉

弱きも汝が名は女なり

▽ア、果敢なき汝が望み男を誑すを勸めの身の一度ならず二度までも薄情男に欺されて夫れとも知らず漸う〳〵に膨るゝ腹を眺め思ひ出しては二へ〜と夢より八力ないものから皆好き程に言ひ繕ひて風に柳と受け流し主人大切樓大切と年期の滿ちるを樂しみに稼ぎ居し本年二月の中（二二）御頭小福を名指して登樓せし美丈夫あり、男は皆んな無情もの、心の底は許せぬものと思ひ極めし身ながらもア、弱きものよ汝が名は女なり。可愛らしいと思はヒとする程思はれてすまじき戀に落ちたるより男は夜每に訪ひ來て深く語らひ交はして後殺物語りに六月には此方の役所を辭職して奈良縣警部に就職すべく然すれば其方を伴ひて團欒の家庭を

一女振り（十）

大橋常三郎君夫人　大橋ごり子

常三郎君は憲兵大尉で京城第一分隊長殿である、とり子さんは華族女學校出身で當年二十七歳である、夫人は東京のれ生れ兄さんは法學士でれ姉さまは秋月子爵家に嫁がれて居らるゝ、れ子供衆はれ三人で長男の武夫さんが八歳、次が嬢さんで文枝さんと仰云るのが六歳、其次が又坊ちやんで正波さんと云ひ此の方が三歳、一つは家庭に於ける御教養が行き屆くからでもあらうがれ三人ともれ行儀がれ宜しい決してれ父さまやれ母さまをれ困らせなさる如なことはない、夫人は女として心得べきことは何でも一通りはれタシナミがある、取り分けて御得意なのが生花と裁縫とである、而して軍人の家庭に間々ある例の橫柄なんと云ふ評判がない、極めて平民的である所に此の夫人の人と爲りが窺はれる。

將來の樂しさに憧がるゝ哀れにも可憐らしき女あり、唯一口に馬鹿がと云へば夫れ迄ながら思へば憎いは其の男なりかし、說き起す、當地太平町二丁目に東屋と云ふ料理店に淺間しき勤めする者に似氣なき起居動作嫋やかに容貌風姿も美しき名をば小福と呼ぶ女あり、さればぞ我れこそ根引して宿の妻にと云ひ寄る風流兒も數多きも彼れは一度味ひし破れ戀に受けたる痛手忘られで男は總て左樣したものと思ひ極めて居る

形成るべしされば夫れ迄は年期は濟けても暫時の間ぞ辛くも今のまゝにてあれよ下宿へ呼ぶは安けれど斯くては其方の身元も知れ彼々の噂りどもなれば」と事を分けたる男の話しに本年三月下旬年期は濟けたに拘はらず今尙は東屋に在りて夫れ樂しみに稼ぎつゝ此の頃にては夕方は秋を列ねて南山公園の散歩に何は彼して斯して罪のない苦勞の結句面白きを喜びて居れるが哀れや此の男には妻あり子も有るものなるが女のれ好人物なるを奇貨に人の心を弄べるものなる由とも知らぬ小福は今や此の男の胤を宿し妊娠三ケ月にてはわるなりとぞ此の男自ら民團役所の書記西鄕某と臆面もなく名乘り居れりとの事なれば其人にてはあるまじ孰れにしても罪深き業にこそ、さあれ小福、汝は曩に西小門通り日の出亭に居りたる頃陸軍中尉池田某に同じく心を弄ばれたる今偖たあらぬ人に同じ運命の下に泣かされんとする不幸のものよ

●開教院の上棟式　明治町の淨土宗開教院にては昨年末來堂宇建立起工中のところ四日大和町一丁目建築地に於て上棟式舉行の筈なり但し雨天の節は翌五日に延引すべしと

●亂暴な商人　廣島縣人當時南大門通り三丁目賣物商八島多久吉（三五）は二日午前九時東大門外往十里朴今山（三七）が蜜柑買ひに來り代金を値切りしとて算盤にて毆打負傷せしめ南部署に告訴され取調の上一件記錄と共に檢事局に送らる

●小笠原信雄の公判期　小笠原信雄の私印盜用私書僞造行使橫領詐欺被告事件は來る十九日京城地方裁判所刑事部に於て塚原裁判長の係りにて境檢事立會公判開廷せらる可しと

●小栗榮吉の豫審　本紙の報道に對し本人より取消申込みありたる小栗榮吉の詐欺取財事件は其筋の犯罪搜査の結果京城地方裁判所南角檢事の手にて豫審に付せられ事件の眞相は追つて詳報す可し

●和歌の池の落成　南山老松町の料理店和歌の家にては季節柄納涼の料にもと過日來庭園中に和歌の池といふを築造中のところ此頃落成せしに付き三日午後五時より右披露の宴を張れるが泉石の美は一入の風致を添へたり

●三十男の無分別　兵庫縣人當時吉野町一丁目六番戶太田命輿（三三）は二日午後の八時頃北米倉町料理店相澤榮次郎方に於て亂暴を働き營業妨害を爲したるより南部署に突き出され拘留十日に處せらる

●飼犬に手を咬まる　廣島縣人當時櫻町居住伊東組車夫菅原富三郎（二六）は同組人力車用の滯圖を竊取し入質費消したる事南部署に探知され目下取調中

●よつて拘留三日　熊本縣人當時北米倉町五番戶人力車夫糸田德松（二六）は三日午前二時頃泥醉して街路を徘徊して拘留三日に處せらる

●尻を二十撲らる　北部校洞十一統三戶李亨爾（三三）は二日午後十一時二十分頃酩酊して南大門通り本町筋等に於て通行人を妨害して笞刑二十に處さる

●ジフテリアの發生　京城新橋通り九十九統三戶堀あいはジフテリアに罹りしを以て西部署より直ちに消毒の上本人は總督府醫院に入院せりと

東京支局設置

本社は今回業務の擴張を圖らんが爲め本社支局を左記の地に設置仕候に付何卒本社同樣御引立相成度謹告仕候也

東京市京橋區南佐柄木町七番地
京城新報社支局
支局主任　木村邦吉
電話新橋八七三番

●判決　元鐵道局雇岡部寬吉の公文書僞造行使橫領事件は懲役一年六ケ月に堀河末一の私文書僞造行使詐欺取財事件は懲役一年六月に處せらる

日曜集會

●日本メソヂスト教會　旭町二丁目同教會にては四日午前九時子供の日「花の私」午後八時藤岡牧師の傳道說教「活動の要素」あり當夜はハリス博士の講演ある由

●日本キリスト教會　旭町四丁目同教會にては是れ迄外村義朗氏傳道の爲め盡力せられしが今回退京後任として秋月致氏着任衙四日午前九時より日曜學校同十前より秋月牧師の禮拜說教「演題未定」午後八時より傳道說教「演題未定」ある由

●京城基督教會　南大門內新築會堂に移轉したる同會にては四日午前十時より米澤牧師の「靈界の障頭」午後八時よりローランド氏の傳道說教ありと

●微笑會例會　初音町二丁目臨濟寺にては四日午後四時より圓山大強師の碧巖錄提唱あり

●禪學提唱　若草町曹洞宗兩大本山別院にては四日午前九時より中任田中進聞老師の無門關提唱あり參聽隨意

●演藝だより

●壽座の琵琶會　同座に於ける筑前琵琶會四日の演奏曲目高峯筑風子明智左馬之助の湖水渡及常陸丸、鈴木一郎子立花大佐、井上霞嶠子の那須與市三曲合奏は櫻竹梅にして其の他は未定なりと入場料特等一圓一等八十錢二等六十錢三等四十錢にして即賣す

●浪花館　浪花節若圓一座三日の語物三國一數井玄伊（日本軒雲龍）人情武俠伴梅山大佐（東洋軒三笠）血氣俠義、田沼乃傷、大和櫻義士面影（京山若圓）

▲火の消えた如くなりし仁川市中も築港確定と同時に非常に活氣づき申候▲眞に結構の事に候面して之に伴ふて第一番に其の餘慶を蒙るものは料理店及び藝妓等に御座候此の時に際りて其の邊のれ噂も强ち無用には之れ有るまじく候▲近日一富士より顯はれんとせらるれ福、いゝ、しげその二人は共に神戶よりの新艘入に御座候御一見の上然る可く御用命仰下さるべく候▲榮亭のチヨコマン仲居のれよし坊は一兩日中同亭より丸子と名乘つてヌーッと現はるゝ由なるが世の中は何うも物騷なものに候▲近日鮮樓に輸入せらるゝ一連は頗るの美人揃ひなる由に吹聽致され候▲當地料亭の客筋色別は▲八阪は座敷の廣き爲め御役人連の宴會は殆んど獨占に御座候▲榮亭は一寸一パイと云ふ方なれば二次會向にて庖丁もかなり商人九分に候▲鮮は御承知の通りの構造なれば一寸入り惡く候へ共其の實御安に候所謂元老連が定連に御座候▲一富士はシン猫向にしてれ廉價くないに拘はらず相當に繁昌する所れ目止められて御一覽下され度客筋は商人九分に御座候（仁川〇子）

●仁川藝妓の腕比べ　五月中の席順は鱗の玉勇を筆頭に八阪の生駒次は淺岡の三桝鱗の福太郎榮亭の榮丸、九八、榮太郎朝岡の君枝那馬淡の福助榮番の合邦八坂の桃太郎と一寸こんな具合なり

▲同　仁川丸　四日大阪より入港
▲同　安東縣へ向出港

●相場電報

諸公債諸株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業
京城本町三丁目
大阪野村德七代理店 田中友吉商店
電話九九三

清涼飲料 シトロン

にせ物御注意
胃病でうろん 飲みすぎ 食ひすぎには
かいいさん
猪飼胃散
定價 十五錢 廿五錢 五十錢 一圓
本舖 大阪西天滿 猪飼史郎
振替大阪七七八
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番 千六十八番 振替口座 京城 十六番

最上醬油
商標 登錄
山十 ヤマジフ
醸造元 千葉縣銚子町 岩崎重次郎
發賣元 京城本町壹丁目 三巴商會
電話七五三番

名譽銀牌受領
キリンビール

梅毒根治の確効ある新藥六〇六號を左の規定に依り治療を施行す
一、治療せんとする者は先づ病毒の有無輕重を驗診（ワッセルマン反應）し之に依て新藥を注射す
一、新藥注射後更に病毒有無の驗診（ワッセルマン反應）を行ひ根治したるを確認して注射を終る
一、本治療は極めて秘密に行ふを以て希望者は本人若くは書狀を以て當院西野醫師に内報すること
本町四丁目（電話二二四番）
贊化病院

營業科目
板材、製材、竹類、赤煉瓦、耐火煉瓦、天井床廻、造作材、疊表花莚七島表
石灰セメント、燐寸、鑢
廣島油明株式會社
廣島製造株式會社
日本舖塗料株式會社
朝鮮代理店
永登浦煉瓦工場特約販賣
京城南大門外古市町（材料部電話千十一番）
堀内商會京城支店
電話 龍山（一一〇七番）
振替貯金 二〇六番

牛馬犬猫 治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
小川家畜醫院
院長 小川龜太郎
（電話一〇二七番）

資本金五百萬圓
本店 東京日本橋區吳服町一番地
派出所 京城旭町二丁目百十五番戶
電話番號 一六八一番
東京建物株式會社京城派出所
一、土地建物抵當貸附
一、月賦償却建物建築 建築費用は尤も薄利に請負申候又月賦償却金一千圓に對し五ヶ年とせば毎月元利金二十三圓七十九錢宛に有之候
今や好期續々直接に御申込を乞ふ

京城本町二丁目百三十銀行横
野田齒科專門醫院
電話一〇四七番

資本金一千萬圓
積立金六百〇五萬圓
明治六年設立
株式會社第一銀行京城支店
京城南山町三丁目
電話 一一番 六一一番
振替貯金口座朝鮮 一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

日本蓄音器商會
朝鮮總代理店
各種品揃
日本譜 朝鮮譜
音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候
大聲發音器
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番
振替口座八七番

健胃固腸丸
くだり病一切の特効藥
主治 ●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒
●常に用ゐて實効速なり
藥價 貳拾粒入 五錢 四十五粒入 拾錢 百粒入 貳拾錢 三百粒入 五十錢 七百粒入 壹圓
本劑は全國到る所の賣藥店に取次販賣せり
大阪市東區伏見町堺筋角
本舖 谷回春堂
（電話東四五八番）
（振替貯金番號八三〇）

代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
振替口座京城十六番
電話一〇六八番 九四〇番

貸金
有給者には秘密に低利融通可申候
高橋

二十世紀之新劑
最良新藥
月經不順
●月經をつうじ
●子宮病を全治す
每月丸
京城南大門通
新井藥房
電話一〇六八番 九〇四番
振替口座京城十六番

三宅院長
嫐精（こうせい）
村井弦齋先生命名
脚氣患者の必ず常用すべき衛生食糧なり
京城本町三丁目
龜屋商店
電話二十七番
振替二十七番

內外科 小兒科 梅毒淋病 入院隨意
京城壽町三丁目
高井醫院
電話（二二六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

最上醬油
京 永登浦大塚釀造所

有價證券賣買御委託の砌は數量の多少に不拘左記組合員へ便宜御用被仰付度精々確實敏速に御取扱可申上候
組合員氏名（イロハ順）
京城旭町一丁目百十八番戶 井上精一 電話一六五番
同 本町三丁目十二番戶 池田長兵衛 電話二〇六番
同 明治町一丁目九十番戶 唐川立造 電話二六一番
同 南山町二丁目百五十六番戶 梶川半三郎 電話一〇六四番
同 本町四丁目二十番戶 淀虎藏 電話八番
同 本町三丁目二十番戶 田中友吉 電話九九三番
同 南山町三丁目六番戶 竹原一郎 電話五七九番
同 南山町三丁目百十四番戶 曾野峻輔 電話一四〇九番
同 本町二丁目卅五番戶 內田道之舖
同 本町五丁目十番戶 釘本藤次郎 電話四五番 振替口座京城二五六番
同 本町一丁目四番戶 久保田金次郎 電話四〇番
同 明治町一丁目五十四番戶 西村支店 山本孫助 電話一七二六番・一九二七番
同 本町二丁目二十九番戶 松浦源治 電話二四八番
同 明治町三丁目二十三番戶 小林藤右衛門 電話六五五番
同 南大門通四丁目一番戶 笹本安之助 電話五九七番
同 黃金町 金應龍 電話一八九三番
同 本町四丁目廿八番戶 三田政治郎 電話一四〇番
同 古市町四十番戶 柴山國太郎 電話一二九八番 振替口座京城四七五番
同 明治町一丁目九十九番戶 森村太郎 電話六六九番
同 南山町三丁目三番戶 倉庫支店 末富榮之助 電話九六五番・壹參五六番
京城有價證券問屋組合

義齒術全般
京城旭町一丁目
齋藤英壽
電話一四一四番

遊漁御案内
漁舟漁具餌は勿論經驗に富める案內者附
仁川仲町三丁目（民團役所通）
仁川用達社遊漁部
電話二三五番

夏帽子荷揃
パナマ、麥稈、學生用夏帽子
京城本町五丁目
丸二帽子店

神聖 正札
京城本町二丁目
三中井吳服店
開店來ル六月五日
未曾有之大薄利
電話番三十七

壽口醬油
特約販賣 仁川 高雄 京城支店

瓦斯コークス販賣
京城黃金町 高等演藝館横
酒井組
電話一四九番

仁川山根町
韓國銀行舍宅下
養雞場
●白毛冠黑色ポーランド
●ノーモルガン系黑ミノルカ
●スミス系横斑プリモースロック
●クック系黑色オーピントン
●フエリッチ系銀色ワイヤンドット
●新輸入クーダン
右種禽種卵御希望の方には分讓す

長崎流
○しるこ
○茶碗むし
○むし壽し
（出前も御好に應じ可申候）
南山町二丁目（南山通上側）
松その
（電話一一八五番）

芙江 公州 間定期出帆廣告
芙江發每日後一時四十分公州着後六時
公州發每日前七時芙江着後四時宇船內御客樣の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ
六月中 濟船出帆廣告
海州行
安來丸 四日、八日、十二日、十六日、廿日、廿四日
海州丸 六日、十日、十四日、十八日、廿二日、廿六日、三十日
濱津富里鎭屯串行
三吉丸 四日、七日、九日、十二日、十四日
三吉里海倉錦島行
成歡丸 十七日、十九日、廿二日、廿四日
七日、九日、十七日、廿二日
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部
電話十七番 七五〇番